

事業所名 社会医療法人 寿人会

(1) 事業所の概要

- ・分かりやすく貴事業所の取組等について御記載ください。
- ・既認定事業所の取組内容（県HP参照）を参考にしてください。

○所在地：福井県 鯖江市 旭町4-4-9
 ○創 業：平成 8 年 10 月
 ○代表者職・氏名： 木村知行
 ○業 種：医療 介護
 ○従業員数：434人
 ○事業内容：医療 介護事業

(2) 事業所で取り組んでいる健康づくり

※申請書の実施状況に○印を付けた項目について、記載してください。

必須項目：⑤については、必ず記載すること

選択項目：④、⑦～⑩については、実施している場合は、必ず記載すること

【取組の目標】社会医療法人寿会では地域に根差し信頼される医療と介護を提供することを使命ととらえ地域に密着した医療サービス、施設介護サービスを提供しています。併せて在宅での療養生活のご支援、在宅介護サービスの提供、予防的なかわりや健康管理等に資することができるよう職員は日々努めております。今回の取り組みではその職員が健康を維持し いきいき働き 住民の皆様と一緒に健康づくりに向かえることを目標に行いました。また、法人が健全経営を行えることが職員の生活の安定、健康につながると考え経営者、職員が一体となって職員の健康づくり環境づくりを考え創造し合える場となることを目指しました。

【取組の内容・成果】

【経営理念の発信】ホームページにて 経営者側からの職員の心身の健康づくりに対する期待を発信し(魅力ある職場づくりを目指して 働き続けられる職場づくり等)、職員には具体的なカフェテリアプラン(選択的福利厚生プラン)のメニューを提案している。経営者自身も検診を受け健康への意識向上に努めている。

【施策】スニーカーサービス:すでに看護、介護職 リハビリ職はスニーカーを実践しており今後はその他の職種にも軽くて履きやすいスニーカーの紹介や新入時の制服配布時も履きやすく歩きやすい、転倒予防にもなることを説明し理解を得ながら推奨していく。

食生活の改善に向けた取り組み:①自動販売機の健康茶や乳酸菌飲料等への品目変更を実施(お手頃価格で住民のかたも購入している)②職員食堂に職員用体組成計(体脂肪や筋量の計測)をおき自らの食事摂取や間食に対する意識向上を行う③食堂には簡易のカロリー票を張り摂取カロリーや栄養バランスを意識した食事摂取ができるよう支援している。また、管理栄養士の協力を得て花見の時期などアルコール摂取量が増える時期の前に『肝臓の機能やお酒の健康に対する影響』などを紹介するポスター掲示を計画している。

【法令順守】敷地内禁煙を実施し禁煙のポスター掲示している。

【健康課題の把握】定期健診受診率は90%以上。精密検査が必要な職員には受診勧奨を行い早期対応をすすめている。医療専門職の事業所ということもあり特定保健指導の実施率が上がらないため職員の理解を得ながら少しずつ実施率向上を図る。今年度は前年度の2倍の実施率を目標に働きかけている。

【教育機会の設定】毎年従業員に向けて腰痛災害や転倒予防に対するオンライン研修機会を設けている(秋から冬の発生時期)。昨年度には研修後に全職員に職場での安全や転倒、運動に関するアンケートを実施。360件のアンケート結果の分析を行い今年度の全職員研修で報告している。運動機会がほしいことと腰だけではなく、首などのストレッチ運動の知識を求めていることが判明したので資料、パンフレット作成し配布。

【運動機会の提供】健康保持増進、腰痛予防支援として介護施設の職域では業務時間中に職員の体操の時間をもうけみんなで体操を行っている。身体的な循環改善の効果とともに精神面のリフレッシュになると好評。また、病院内には職員の手に取りやすい場所にストレッチ運動のリフレットを置き業務前後のリフレッシュを勧めている。

【女性の健康保持への取り組み】職員の定期健診とは別時期にレディース検診を実施。昨年秋から今年冬にかけては3回100名が乳がん検診、子宮がん検診を受診。本年度10月は25名で乳がんのみ実施された。隔年間で補助券クーポン券使用し実施している。

【メンタルヘルスへの対応】全職員にストレスチェックの実施を勧奨。高ストレス者への対応を産業医らと協力して行う。今年度は「接遇から優しい職場づくりを考える」と題して接遇アドバイザーによるオンライン研修を計画。虐待予防も視野に入れた研修企画となった(令和6年3月実施)。メンタルヘルス不調による休職期間の長い職員の状況を顧問社会保険労務士と検討し環境改善や要因分析を行い再発予防の対応策を提案する仕組みを構築している。

【感染予防対策】院内感染対策委員会による年二回の研修の実施と毎月の最新情報の提供。インフルエンザ新型コロナウイルスのワクチン予防接種を推奨している。食堂での黙食指導のポスターづくりや感染状況を見据えての感染教育がなされている。

【喫煙率低下に向けた取り組み】敷地内禁煙のポスターを掲示し禁煙教育を実施した。



(3) 今後の健康づくりの取組

【今後の目指す姿】職員間で健康づくりの意識を高めるのはもちろん、地域の皆さんと一緒に健康づくりができるよう地域包括支援センターや市の健康づくり課と協力して啓蒙活動に取り組みます。医療の知識の裏付けされた健康づくりの提案を地域社会に向けても発信していきたい

【重点的に取り組む内容】職員が自ら積極的に取り組んでいける健康づくりへの環境整備。健診結果を受けての健康相談の機会を設けていく。心疾患や脳血管疾患の発生予防の研修、リーフレット配布などに取り組みたい。